



発行日 令和7年10月31日(金)

発行者 敷布小中学校

校長 大山 淳子

進んで
やりぬく
子ども

=学校教育目標=

- みんな仲良く生活する子どもになろう
- 深く考え進んで勉強する子どもになろう
- 健康な体と心をつくる子どもになろう
- きまりを守り最後までやりぬく子どもになろう
- 身のまわりを美しくできる子どもになろう



『心に育つ実り』

校長 大山 淳子

朝晩の冷え込みが日増しに感じられる季節となりました。散布周辺の紅葉も終盤を迎え、山々の彩りは静かに冬へとバトンを渡そうとしています。朝の空気は澄み渡り、吐く息が白くなるたびに、季節の移ろいを感じます。畠や野山では、秋の恵みが収穫の時を迎えていました。自然の営みは、努力の積み重ねが実を結ぶことを静かに教えてくれます。

そんな中、先日26日(日)に開催された散布小中学校文化祭には、ご多用のところ多くの保護者・地域の皆様にご観覧いただき、心より感謝申し上げます。体育館に響く子どもたちの声、真剣な眼差し、そして演目が終わった後の笑顔と拍手。どの場面にも、子どもたちの「全力」がありました。

今年のテーマは「全力で楽しむ」～心を燃やし、成長とやる気を見せ、協力しあう散布生～でした。この言葉には、ただ楽しむだけでなく、仲間と力を合わせて挑戦することの大切さが込められています。練習の中でうまくいかないこともあったでしょう。セリフが覚えられない、タイミングが合わない、思うように声が出ない…。しかし、互いに声をかけ合い、工夫しながら乗り越える姿に、確かな成長を感じました。

文化祭は、単なる発表の場ではありません。そこには、仲間と協力しながら一つの目標に向かう過程があります。自分の役割を果たす責任感、仲間を思いやる優しさ、困難を乗り越える粘り強さ。こうした力は、教室での学びだけでは育ちにくいものです。今年度新しく始まった開祭式や閉祭式など初めての試みに仲間と協力しながら挑戦した経験は、目には見えないけれど、心の中にたくさんの「実り」を育てます。実りは一朝一夕には得られません。小さな積み重ねが、やがて確かな力となります。失敗や悔しさも、次への芽を育てる大切な要素です。自然が教えてくれるように、時間をかけて育てるからこそ、豊かな実りがあるのです。

そして、11月には文化の日、10月27日～11月9日までの2週間は読書週間だそうです。本を読むって、ちょっと面倒…と思う人も多いと思います。しかし、本にはすごい力があります。本を開けば、時間も場所も自由自在。宇宙旅行もできるし、江戸時代にだって行けます。しかも、電池切れなし! 読書は、ただ文字を追うだけじゃありません。頭の中に映画館ができて、登場人物の気持ちを感じたり、知らない世界を旅したりできます。こういう体験は、スマホの画面では味わえないものです。スマートフォンや動画が身近な時代だからこそ、ページをめくる時間を大切にしたいものです。文化祭で燃やした心の炎を、今度は本の世界にも広げて心の実りを増やしてほしいと思います。

自然の恵みが実を結ぶこの季節、子どもたちの努力もまた、少しずつ形になっています。この経験を、これから学びや生活に生かし、さらに豊かな心を育んでほしいと願っています。地域の皆様の温かいご支援に感謝しながら、子どもたちがこの経験を糧に、これから学びや生活でさらに成長していくことを心から願っています。

行事や下校時刻は、あくまでも予定です。週ごとの学年通信等でご確認ください。

日	曜	11月の行事予定	小:下校	中:下校
1	土			
2	日			
3	月	文化の日		
4	火	小5-中3:非行防止教室	14:00/15:00	15:00
5	水	中:参観日、高校説明会	14:20/15:20	15:20
6	木	中3:学力テスト総合C 小中:委員会 学校運営協議会②	14:00/15:30	15:30
7	金	小:スクールカウンセラー来校日	14:00/15:00	15:00
8	土			
9	日	釧路管内PTA連合会研究大会標茶町大会		
10	月	朝会	14:20/15:20	15:20
11	火	小:クラブ 中:後期生徒総会	14:00/15:10	15:20
12	水		14:20	14:20
13	木	公開研究会	13:00/14:20	13:00/14:20
14	金	小56:社会見学	14:20/15:20	15:20
15	土			
16	日	浜中町PTA連合会研究大会		
17	月	小:参観日 中:スクールカウンセラー来校日	14:20	15:20
18	火	中3:後期中間テスト	14:20/15:20	15:20
19	水	職員会議	14:20/15:20	15:20
20	木		14:20/15:20	15:20
21	金	小中:委員会	14:00/15:30	15:30
22	土	数学検定		
23	日	勤労感謝の日		
24	月	振替休日		
25	火	中3:食の指導	14:20/15:20	15:20
26	水		14:20/15:20	15:20
27	木	中12:後期中間テスト 水槽清掃③	14:20/15:20	14:20
28	金		14:20/15:20	15:20
29	土			
30	日			

新生徒会役員決定

1日(水)、令和7年度の中学校生徒会役員選挙が行われました。立会演説会では、立候補者が自分の考えや意欲をしっかりと述べ、全校生徒に向けて学校をよりよくするための思いを伝えました。聴く生徒たちも真剣に耳を傾け、学校全体で選挙の意義を共有する場となりました。

選挙の運営は選挙管理委員の生徒たちが中心となり、公正かつ円滑に進められました。投票も実際の選挙さながらの雰囲気で行われ、生徒一人ひとりが責任をもって参加する姿が印象的でした。こうした活動を通して、生徒たちは自治や主体性の大切さを学び、学校生活における実践的な力を育んでいます。

今回選出された3名の新役員を中心に、全校生徒が力を合わせ、学校活動をより活発にしていくことが期待されます。新役員たちがリーダーシップを發揮し、互いに意見を尊重しながら活動を進める姿は、これからの中学校づくりに大きな力となることでしょう。

保護者の皆様には、日頃の学校生活の中で新役員の活躍や取組についてお子さんと話し合い、応援していただければ幸いです。生徒会活動を通して子どもたちが責任感や協力する力を育む様子を、ぜひ温かく見守ってください。



へき地校体験実習

20日(月)から31日(金)まで、北海道教育大学釧路校の学生2名が本校でへき地校体験実習を行いました。実習生は授業準備や教材研究に熱心に取り組むとともに、休み時間や給食の時間には子どもたちと積極的に交流し、一緒に遊んだり学習を手助けしたりして笑顔あふれる時間を過ごしました。短期間ながら、学びや生活に寄り添う姿勢が随所に見られ、子どもたちにとっても刺激となりました。

30日(木)にはそれぞれ研究授業を行い、子どもたちの反応を見ながら授業を工夫する姿が印象的でした。限られた期間の中で全力を尽くす実習生の頑張りは、学びの場をさらに活気あるものにしました。今回の実習を通じ、生徒たちは教師としての力量や責任感、工夫する力を高めることができました。

今回の実習を通じ、生徒たちは教師としての力量や責任感、工夫する力を高めることができました。散布での経験を糧に、今後立派な先生として成長してくれることを学校全体で期待しています。



文化祭開催 全力で楽しむ

～心を燃やし、成長とやる気を見せ、協力し合う散布生～

26日(日)、令和7年度の文化祭が開催されました。当日は比較的天候にも恵まれ、大変多くの皆様にご来校いただき、盛況のうちに幕を閉じることができました。子どもたちはこの日のために準備や練習を重ね、それぞれの学年・学級が工夫を凝らした発表を行いました。

今年は、特にストーリー仕立ての発表が多く、観る人を引き込む構成や演技に工夫が見られました。学級ごとの発表では、子どもたち自身が話し合い、セリフや動きを考え、役割を果たしながら物語をつくり上げていく姿が印象的でした。どの学級も「伝えたいこと」を明確にもち、表現する力を大きく伸ばしていましたように感じます。

また、合唱や合奏、作品展示など、音楽や造形の分野でも日ごろの学習の成果が存分に発揮されました。一人ひとりの努力が重なり、会場には子どもたちの真剣なまなざしと、表現する喜びがあふれています。今年も全校で取り組んだ二部合唱では、学年の枠を超えて心をひとつにし、歌声が体育館いっぱいに響き渡りました。聴いていた皆様からも「感動した」「成長を感じた」との声をいただきました。

どの場面にも「出来上がるまでの過程」があり、仲間と協力しながら試行錯誤を重ねる姿がありました。本番の姿や作品は、その積み重ねの成果そのものであり、子どもたちが互いを認め合い、高め合った証もあります。

ご家庭でも、ぜひ文化祭を通して感じたことや、お子さんの頑張りについて話し合っていただければと思います。今回の経験を次の学びへつなげ、来年度はさらに心に残る文化祭となるよう、学校としても一層の工夫と支援を重ねてまいります。ご来場・ご声援をいただいた皆様に、心より感謝申し上げます。



小中一貫教育校開設に向けて～第2回推進委員会の報告～

16日(木)、第2回小中一貫教育校開設推進委員会を開催しました。小中一貫教育校としての新たなスタートに向け、学校名や校章・校歌、教育目標、制服、生活指導の在り方など、学校運営の根幹に関わる多くの事項について協議を行いました。委員の皆さんからは、これまでの散布小・中学校の良き伝統を大切にしながら、9年間を通した学びの連続性をどう確立していくかという観点から、活発な意見が寄せられました。会の雰囲気は終始前向きで、子どもたちのより良い成長を願う思いが随所に感じられました。

まず、学校名および校章・校歌については、地域に長く親しまれてきた現行のものをそのまま継承することで一致しました。長年にわたり地域とともに歩んできた歴史と誇りを、これからも新しい学校の中で引き継いでいく方針が確認されました。

続いて、「目指す人間像」については、昨年度末に教職員間で協議し設定されたものを引き続き用いることとしました。協議の中では、「多くを詰め込みすぎず、子どもたちが実感をもって目指せる内容であり、適当である」との意見が共有されました。今後は、この「目指す人間像」を児童生徒や保護者、地域の皆様とも共有し、学校全体で理解を深めていくことが確認されました。

一方で、学校教育目標については、現行のものが昭和45年に制定されており、今日の社会状況や子どもたちの実態と照らして、やや時代に合わなくなっているのではないかとの意見が多く出されました。また、項目が5つと多く、分かりづらく覚えにくい点も課題とされました。そのため、今回を機に「目指す人間像」との整合性を図る視点を持ちながら、より現代的で、子どもたちが9年間を通して意識し続けられる教育目標に見直していくことが提案されました。今後、教職員の意見を取り入れながら、時間をかけて丁寧に検討を進めていく予定です。

さらに、その他の議題として、制服や校則、生徒指導に関する事項についても話し合われました。制服については「必要」との意見が多く、デザインの見直しを行うために「制服検討委員会(仮称)」を立ち上げることが決まりました。また、小学生段階からの自転車通学の可否、校則や生活のつまり、生徒指導の在り方などについても、今後「生徒指導等検討委員会(仮称)」を早い段階で立ち上げ、協議を進めていくことになりました。子どもたちが安全で安心して学校生活を送ることができるよう、体制整備を進めていきます。

今後も、教職員・児童生徒・保護者・地域が一体となり、子どもたち一人ひとりが誇りをもって通える学校をめざして準備を進めてまいります。地域とともに歩み、未来を担う子どもたちを育てる新しい散布小中学校の実現に向けて、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。今後の委員会でも、よりよい学校づくりのために、地域の声を生かした建設的な議論を重ねていく予定です。子どもたちの笑顔があふれる学び舎となるよう、皆さまと力を合わせて一步ずつ歩んでまいります。